

2025 1/28

No.2227

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



ユネスコの無形文化遺産「風流踊」に登録されている三浦市三崎の伝統芸能「チャッキラコ」が15日、海南神社などに奉納された。



視点点描		
モンスターの「創造主」		3
講演録		
シンポジウム「2025年の動向を読む」		4
パネリスト		
共同通信社編集局政治部長	杉田 雄心	
共同通信社編集局経済部長	加藤 裕	
共同通信社編集局外信部長	清水健太郎	
コーディネーター		
神奈川新聞社論説主幹	鈴木 達也	
政治双眼鏡		
トランプ氏との会談先延ばし		10
奏功するか首相の「拙速より巧遅」		
会員コーナー		
主な県内企業トップ訓示／2025年仕事始め		11
神奈川景気データファイル		
		12
かながわTODAY		
12月の主な経済ニュース		14

事務局だより

◇2025年2月定例講演会
2月13日(木)午後1時30分～3時

メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：フェリス女学院大学学長・小檜山 ルイ氏

◇2025年3月定例講演会
3月3日(月)午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ(横浜市中区山下町)

講師：元横浜高校野球部監督・渡辺 元智氏

◇2025年4月定例講演会
4月10日(木)午後1時30分～3時

横浜駅周辺
講師：横浜DeNAベイスターズオーナー・南場 智子氏

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



モンスタターの「創造主」

「とにかく攻撃しろ」「非を認めるな」「どれだけ劣勢に立たされても勝利を主張しろ、決して負けを認めるな」

かつて師事した弁護士から教わった三つのルールを忠実に守り、今や自家薬籠中のものとしているように見える。先ごろ、第47代米大統領に就任したドナルド・トランプ氏は、この暴力的で危険な

行動原理を貫き、132年ぶりの
返り咲き大統領となった。

日本で現在公開中の映画「アプレンティス ドナルド・トランプの創り方」は、若きトランプ氏に三つのルールを徹底的にたたき込んだロイ・コーン弁護士との出会いと、彼に従って不動産王としてのし上がっていくトランプ氏の変貌ぶりを描く。

脚本は長年、トランプ氏を取材してきた政治ジャーナリストによるもので、説得力がある。トランプ氏本人が「映画は安っぽく屈辱的。悪意に満ちた中傷」とSNSで書き込んだそうだから、逆に「信憑性は高いのだろう」。

トランプ氏を演じたセバスチャン・スタンの演技が光る。コーン弁護士は当初、トランプ氏を「哀れな坊や」と評するが、やがて自身をしのぐような「モンスタター」に変わっていく。そんな姿をリアルに演じた。

コーン氏は元検察官で、1950年代にマツカーシー上院議員の右腕として「赤狩り」を進めた。弁護士に転身後は政治家や著名人、マフィアのボスを顧客に抱え、勝つためなら手段を選ばないやり口で、悪名をとどろかせた。

喜び勇んで敵を中傷し、脅し文句を突きつける。告訴されれば受

けて立ち、たとえ相手が降参しようが容赦なくたたきのめす。

トランプ氏は、コーン氏から学んだあくどいやり口を前回も今回の大統領選でも臆面なく行ってきた。その乱暴な手法は、国内だけでなく、今や全世界に及ぼうとしている。

映画のタイトル「アプレンティス」は、かつてトランプ氏が司会をし、「お前はクビだ」の決めゼリふで人気を得たリアリティー番組の題名でもある。一方で、この単語は「見習い」という意味であり、こつちも掛けてある。

コーン氏がエイズにかかり、影響力を失っていくと、トランプ氏の冷酷さがあらわになる。「勝つことだけを至上目的」にしている者の末路はどうなるのか。映画は辛辣なメッセージを發してもいる。

(神奈川新聞社文化部長・

桐生 勇)